

平成17年（2005年）11月1日発行

新たに輝く時を! 第37回 若杉祭
11月4日(金)・5日(土)・6日(日)開催



昨年の若杉祭より：上段左・秀麗展、上段中：オープニングパレードで新撰組の仮装、上段右・青森県人会で「ねぶた」の展示を囲んで、下段左・サウンドオブミュージックの露店（アクセサリー、雑貨小物売り）、下段右・美男子コンテスト

大学の季節を迎えた。恒例の「若杉祭」も今年で37回を数え、11月4日(金)～6日(日)に開催される。会期中、5日(土)にはホームカミングデー、6日(日)に建築設計コンペの表彰式が行われ、工業技術博物館の特別展、生涯学習センターの作品展なども開催。学園をあげての多彩な催しが繰り広げられる。



2007年の学園創立100周年まで、あと2年。本学園では、年史の作成や百年記念館の建設など、学内外の方々の協力をいただき、さまざまな記念事業を推進している。左は、無限を表す「メビウスの環」をモチーフとした、100周年記念シンボルマーク。

専門職大学院だより

秋学期本格稼働中

大学院技術経営研究科

研究科長

村川 正夫

夏学期も終了し、秋学期が本格的に稼働中である。T大学院（東京MOT6大）学生たちも相変わらず多忙であるが、要領がつかめた長を大いにPRしてきた。とみえて、最近春学期中のように、「試験はどのように行なうのですか」といった試験を心配しての質問は出なくなった。

1年制は本大学院最大の特長の一つである。先日東京国際フォーラムで開催の報告しておく。

今年の若杉祭は、例年よりもさらに勢いのあるものにしていくと考えている。テーマは、「百花斉放の花」。花を放つとは、多くの花が一緒に花開く状態を表す言葉で、転じて文学・芸術活動において、各方面の人々が自由に創作し、壮観なさまを示す意味がある。若杉祭を機に、自分にはない個性や自分の中に秘められた能力に気づき、それを一斉に開花させる、そんな思いをこのテーマに込めた。来場された方々はもちろん、この一年準備してきた私たちに、新たに輝く時と確信している。

初日は、11時30分の「オープニングセレモニー」でスタートし、「食欲王」食欲を解き放て、「音団コンサート」「初夜祭」「プラコレ株式会社」と続く。中日は、「演武会」「喰らい尽くせ!秋の全てを!」「DANE KING X DANE KING」「おかまと薔薇」「咲き誇れ!俺のMUSCLE」。そして真鍋かをり、品川庄司、ニブンゴという人気ゲストを迎えて「TALK & LIVE 2005」を開催。最終日は、「吹奏楽団コンサート」「クイズスターライアス」(人には聞けない常識テスト)、「Q37、百花放」(口を埋めなさい)、「美男子コンテスト」、そしてジャパハリネットを迎えて「秋のからっ風こんさあ」と「後夜祭」で幕を閉じる。また、今年宮代町の小学生を対象に「自分の好きな花」をテーマに絵画を募集した。期間中は会場の一角に展示する予定なので、企画と合わせて小学生の作品も見ていただきたい。



●懇親パーティで教職員と校歌を歌う卒業生

11/5 第6回 ホームカミングデーにどうぞ!

卒業後30年、20年、10年の皆様
ホームカミングデーが、若杉祭2日目の11月5日(土)に、日本工業大学と工友会の共催で開催される。卒業後10年毎の節目の皆さんにお集まりいただくこの企画も、今年で6回目。対

2006年度 専門職大学院オープンキャンパス日程
12月3日(土)・2月4日(土) いずれも13時30分から
シンポジウム、説明会、キャンパスツアー、授業見学等を予定しています。
*開催日の1週間前迄に予めお申し込みください。
お申し込み先：日本工業大学 専門職大学院
TEL: 03-3511-7591 FAX: 03-3511-7594
E-mail: mot@kanda.nit.ac.jp

2006年度 専門職大学院入試日程

	第1回募集	第2回募集	第3回募集
出願期間	平成17年10/10(月) 平成17年11/19(土)	平成17年12/12(月) 平成18年1/21(土)	平成18年1/30(月) 平成18年2/22(水)
試験日	平成17年11/27(日)	平成18年1/29(日)	平成18年2/26(日)
合格発表	平成17年12/1(木)	平成18年2/2(木)	平成18年3/2(木)
入学手続締切日	平成17年12/9(金)	平成18年2/17(金)	平成18年3/10(金)

平成17年度 秋季学位記授与式・入学式



柳澤学長より代表者へ学位記授与
入学式で祝辞を述べる大川理事長

去る10月1日、平成17年度秋季入学式が情報工学科棟5階会議室で挙行された。今回新たに学生生活をスタートさせたのは工学部12名、大学院6名(留學生別科31名)である。また、これに先立って、9月20日には秋季学位記授与式と留學生別科修了式も行われた。この日卒業(修了)したのは、工学部55名、大学院博士前期課程6名、留學生別科16名である。柳澤学長からは、「諸君は、本学で知識、技術を身に付けるとともに本学の伝統でもある誠実さを身に付けている。その誠実さは、社会に出て先輩、後輩、同僚から信頼を得る上で必要なものであり、そうした誠実さを今後の社会生活の中で生かしてほしい」との告辞があった。その後、大川理事長および来賓の窪田後援会会長、渡辺工友会会長から祝辞をいただき、窪田後援会長からの記念品贈呈、校歌斉唱など厳かな雰囲気の中、粛々と式は執り行われた。

日本工業大学 平成18年度入試日程

●機械工学科 ●電気電子工学科 ●建築学科 ●システム工学科 ●情報工学科

	出願期間	試験日	試験内容	合格発表	入学手続締切
一般入試	1月6日～2月4日	2月12日 2月13日 2月14日 (受験日自由選択)	・数学I、II・物理I ・英語II、リーディング、 オーラル・コミュニケーションI *上記のうちから任意の2科目を選択	2月21日	2月28日
社会人入試	1月6日～1月18日	2月13日	小論文及び面接 書類審査による第1次試験の合格者のみ受験可能。第1次試験の合格発表は1月21日	2月21日	2月28日
帰国子女入試	1月6日～2月4日	2月12日	書類審査及び面接	2月21日	2月28日
AO入試(第2期)	11月25日～12月5日	12月10日 12月11日 (受験日はいずれか1日を大学が指定)	課題への取り組み、面談	12月17日	12月26日 1月16日
AO入試(第3期)	2月20日～2月25日	3月4日	課題への取り組み、面談	3月10日	3月17日

日本工業大学 大学院工学研究科 博士前期課程・博士後期課程

●機械工学専攻 ●電気工学専攻 ●建築学専攻 ●システム工学専攻 ●情報工学専攻

本学で先端技術研究の取り組みを
社会人大学院生 募集! (日本工業大学 社会人特別選抜)

■平成18年度 大学院 社会人特別選抜入試日程

	出願期間	試験日	試験内容	合格発表	入学手続締切
二次募集	2月14日～2月21日	2月28日	書類選考・面接	3月4日	3月10日

願書のご請求およびお問い合わせ先：教務部教務課 大学院入試係 TEL0480-33-7507(直通)

願書のご請求およびお問い合わせ先
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1 日本工業大学教務部 入試室
☎0120-250-267 TEL: 0480-33-7676(直通)
URL: http://www.nit.ac.jp/ E-mail: nyu-shi@nit.ac.jp

平成17年度 第15回 特別展

時計用小型工作機械の歴史

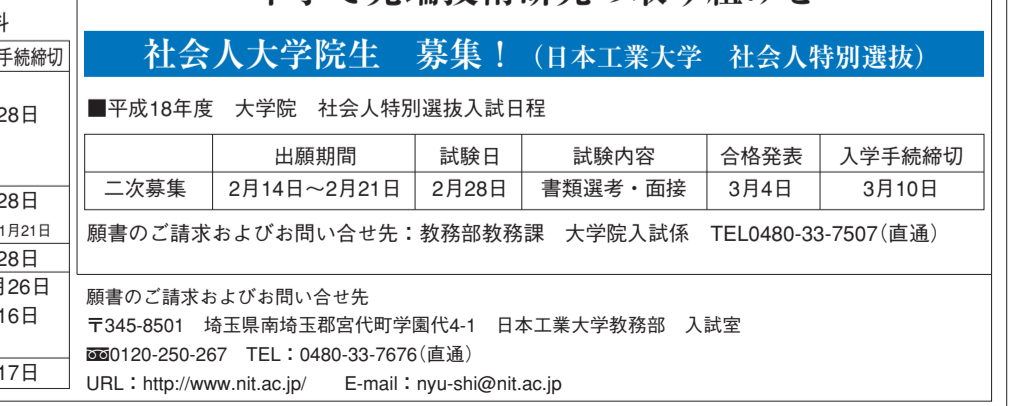
腕時計の部品を製作した、掌にも乗せられるような小さな工作機械を紹介します。

展示内容
時計を製作した道具・機械の歴史を紹介。特に、昭和中期に製造され用いられた小型の工作機械の一部動態展示。その他、最近の時計に用いられている新技術など。

●開催期間 11月4日(金)～19日(土)
●場 所 工業技術博物館2階
●入 場 無料

講演会
●時計工業における技術開発の歴史
講師：セイコー時計資料館 名誉館長 久保田 浩司 氏
●日時 11月16日(水) 13:20～15:00
●場所 学友会館 ホール

主催 日本工業大学 工業技術博物館
Tel: 0480-33-7545 (博物館直通)
E-mail: museum@nit.ac.jp



第19回 建築コンペ

多くのアイデアと提案に満ちた作品 応募329点「○○のない家」

今年度も建築を学ぶ全国の高校生を対象として、日本工業大学建築設計競技が実施された。今回は審査委員長に建築家の高橋晶子氏（武蔵野美術大学教授）を迎え、「○○のない家」を課題に開催。応募は昨年より16点増え329点であった。これらの作品は11月4日（金）から6日（日）まで、本学大学祭期間中に建築棟1階ホールで展示され、最終日に学友会館で表彰式が行われる。

受賞のことば

視界を遮るものがない家

兵庫県立兵庫工業高等学校 建築科

中山 美耶子



この度は一等を頂き、ありがとうございました。結果を聞いた時には、驚きと共にうれしく思いました。この家には、家具や間仕切り壁など床に置かれてい

るものはありません。視界を遮るものがないので、中に入ると360度の視界が広がります。生活に必要なものすべてが、床の下に納められています。ですから、素晴らしい景色を存分に楽しむことができます。平らな床に所々穴が開いていて、その部分が家具になります。掘り込む深さによって床面

が家具に変化します。傾斜地に建っているため、どこへ向いても床面を外部から見ることができません。構造面などは、怪しげな部分もありません。素晴らしい景色を存分に楽しむことができます。今回の受賞を機に、これからも自信を持って、建築について様々なことを学んでいきたいと思います。

日本工業大学建築設計競技入賞者

- 審査員賞
 - 一等 兵庫県立兵庫工業高等学校
 - 二等 三重県立四日市工業高等学校
 - 三等 滋賀県立安曇川高等学校
 - 三等 三重県立伊勢工業高等学校
- 佳作
 - 堺市立工業高等学校
 - 長崎県立長崎工業高等学校
 - 山梨県立甲府工業高等学校
 - 山梨県立甲府工業高等学校
 - 仙台市立仙台工業高等学校
 - 東京工業大学附属科学技術高等学校
 - 静岡県立静岡工業高等学校

（○印は共同作品の代表者です）

- 木戸 伸幸
- 小林 太樹
- 田中 優喜
- 小林 円
- 清水 信吾
- 中谷 健
- 橋本 寛人
- 山本 達哉

1等 中山美耶子さん 受賞作品

さえぎるものがない住まい

さえぎるものがない住まい
風景を思いっきり楽しみたい！！

この住まいには、家具や障子切替などに置かれているものはありません。中に入ると360°の視界が広がります。生活に必要なものが床の下に収められています。だから、素晴らしい景色を存分に楽しむことができます。床に空けられた穴の大きさは350mmが基本です。置いたときに350mm、テーブルは700mm、壁の厚みによって、床面が家具に変化します。また、傾斜地に建っている事により、特徴ある床面が外部に現れます。この住まいで、人は森の一隅となります。

奨励賞

- 堺市立工業高等学校
- 静岡県立静岡工業高等学校
- 静岡県立静岡工業高等学校
- 神戸市立神戸工業高等学校
- 大阪府立工芸高等学校
- 仙台市立仙台工業高等学校
- 大阪府立工芸高等学校
- 三重県立四日市工業高等学校
- 静岡県立静岡工業高等学校
- 愛知県立半田工業高等学校

奨励学校賞

- 群馬県立館林商工高等学校
- 埼玉県立春日部工業高等学校
- 安田学園高等学校
- 山梨県立甲府工業高等学校
- 静岡県立静岡工業高等学校
- 京都市立伏見工業高等学校
- 大阪市立工芸高等学校
- 愛媛県立東予高等学校

講評

「建築をいま学んでいる楽しさ」が滲み出ている。大学生にひけを取らない提案力が頼もしい。

今回の課題は3年前、当時非常勤講師をしていた東京電機大学で、住宅の課題を出した時に考えたものです。たまたまあの先生が「部屋のない家」という課題をかつて出したことを話してくれました。その視点がとても興味深く感じられたので、じゃあそれを拡大して「何か○○がない家」としようと思いましたが、ちょうど同じ時期に非常勤講師をしていた横浜国立大学と東北大学で、そして昨年赴任した武蔵野美術大

た「○○」というセミオーダーのキーワード部分で個人の個性が出てきました。出題した側がはっとするような提案も多くあり、あらためて様々な家のかたちがあふれていたように思いました。そのような経緯で出題テーマはすぐこれで決まり、やはり若い工業高校のみなさんの提案を待つことになったのです。

野田美佳さんの2等案「カーテンのない家」は、断面スタディによって豊かな空間を獲得した住宅です。敷地の領域を壁で閉じながら、二つのハイサイドライフトで直射日光と視線の制御を行い、壁を傾斜させて光を拡散させながら、変化に富んだ内部、外部そして中間領域のあたりを生み出し、高校生と思えない造形力を感じました。

中山美耶子さんの1等案「さえぎるものがない住まい」は、一見シンプルなプレゼンテーションに見えます。しかし「○○」に入るキーワード、各種の状況設定（プログラム）、そして建築デザインの3者の関係が、たいへんシンプルで強い一貫性を持っていると思えます。森の中の傾斜地に、かかげるような存在感で浮かんでいる建築は、床と最小限の柱で支えられたフラットな床だけで領域が作られています。普通は床の上に生活の諸行為に依じたものが置かれますが、それを床にあげられた「穴」に納める（しまった）り、下がったところで用を足すことで解決し、さえぎるものなく景色を楽しむ場としての住宅を提案しています。床を「凹ます」というひとつの手法だけで、すべての煩雑な機能を整理する視点によって、部屋も壁も家具も、そして人の行為も再編されています。これだけ



高橋晶子

（建築家・武蔵野美術大学教授）
1958年・静岡県生まれ。80年・京都大学卒業。86年・東京工業大学博士課程中退、篠原一男アトリエ勤務。現在、高橋寛とワークステーション共同主催。（主な作品）高知県立坂本竜馬記念館、野毛山動物園ふれあいコーナー、横浜トリエンナーレ2005会場計画等。（受賞）JIA新人賞、中部建築賞、グッドデザイン賞、商環境デザイン賞等。

「建築をいま学んでいる楽しさ」が案の中から滲み出ているなど、審査中に感じたことが印象に残っています。単なる知識や技法として覚えるのではなく、具体的な自分の提案に昇華させようとする姿勢は大学生にひけを取らず、頼もしいものでした。数多くのアイデアへ向けた真摯な提案に出会え、充実しました。

今年の就職戦線 中間報告

内定率10%アップ 昨年に比べ好調

就職課長 吉見健二

就職戦線の前半を振り返ると、就職状況は総じて順調な出足であった。9月24日現在では、昨年同時期に比べ、内定した学生は約180名増加し、内定率では64%と10%アップした。特に、上場企業を中心に大手企業に内定した学生が多いのが特徴である。(主な内定先は文末参照)



●就職相談では、さまざまな角度で話し合う

- 1. 企業の業績が回復してきたことや、2007年に団塊世代が大量に退職するという状況の中で、企業の採用意欲が急激に高まっていること。
2. 今年の4年生はキャリア教育を1年生から受講...



●見学に来る家族連れも乗車を楽しむ

毎年の恒例行事として定着 第4回 5インチゲージ ミニトレイン・フェスティバル

9月10日(土)と11日(日)、本学キャンパス内で、本学と付属東京工業高等学校共催の「第4回5インチゲージ ミニトレインフェスティバル」が開催された。参加車両は2日で延べ74台。そのうち関東以外の地域からの参加は12組あり、遠くは北九州からの参加もあった。見学に来る家族連れも年々増えており「毎年、このイベントを楽しみにしている」という声も多い。

(写真および情報提供は、日本工業大学付属東京工業高等学校)



●カナディアンロックの氷河上を散歩する学生達

3週間の異文化体験で たくましく成長

平成17年度英会話カナダ特別セミナーは15名の学生が参加し、8月22日から9月15日まで行われた。前半9月9日までにはカナダの一般家庭にホームステイをし、UBC(ブリティッシュ・コロンビア大学)での英会話研修...

初めての海外体験と英語漬けの生活のため、戸惑いや緊張から口数も少ない学生が多かったように見受けられた。しかし、一週間ほど経過するうちには、辞書を片手に、あるいはジュエスチ...

第38期決算・第39期予算

日本工業大学の 財政状況について

一・はじめに
第三八期決算、第三九期予算が公認会計士及び法人監事の監査を受け、法人理事会・評議員会で承認決定されましたので、ここに財務諸表を公表し、関係各位のご理解と引き続きのご協力をお願いする次第です。

二・平成十六年度 決算について
学校法人会計基準に基づく主たる財務諸表には次の三表があります。①全ての資金の流れとその期末を示す「資金収支計算書」(別表1)、「資金収支計算書」(別表2)をみる上での指標となる「消費収支計算書」(別表3)です。

三・平成十七年度 予算について
平成十七年度予算書の詳細は別表4のとおりであります。主たる収入である学生納付金収入は前年度実績額を見込みました。雑収入は多くの定年退職が予定されているため増額となりました。

四・むすび
平成十九年度には学園創立百周年、大学創立四十周年を迎えます。激変する環境下で、大学が存続・発展していくためには、学生、ご父母、卒業生の皆様のご理解が不可欠であります。これからも関係各位の皆様のご協力を得て、変わらなげればならないもの、変えなければならないものを慎重に見極めながら、建学の精神に則った教育活動を展開して参る所存ですので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。(財務部)

Table 3: Balance Sheet (貸借対照表). Columns: Item, H16, H15, Change. Rows: Fixed Assets, Current Assets, Liabilities, etc.

Table 1: Income Statement (資金収支計算書). Columns: Item, H16, H15, Change. Rows: Income from students, business, etc.

Table 4: Income Statement (資金収支計算書). Columns: Item, H17, H16, Change. Rows: Income from students, business, etc.

Table 2: Consumption Statement (消費収支計算書). Columns: Item, H16, H15, Change. Rows: Personnel expenses, research, etc.

Table 5: Analysis of Main Items in Consumption Statement (消費収支計算書の主要項目の分析表). Columns: Item, H16, H15, Change. Rows: Personnel, research, etc.

法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)との共同研究・太陽光発電フィールド事業終了に伴い、NEDOからの譲渡により、前年比一・一四億円増加しました。補助金は年々厳しくなり前年比一・三三億円の減少となりました。雑収入は定年退職者が多く、私立大学退職金財団交付金が増加したことに伴うものであります。以上の結果、帰属収入は前年対比〇・六億円の増減であり、収入は前年度より減少となりました。寄附金は独立行政に維持向上させるために不可欠な資産で、定期的な施設整備や図書費の他、百周年に向けた第二号基本組入(三億円)が含まれ、総額十億四千四百円の規模となりました。

オープニングパス報告

盛況だった 今年のオープニングパス

今年のオープニングパスは7月16日(土)、8月20日(土)、10月22日(土)に開催された。当日は、昨年度を大幅に上回る数多くの生徒・保護者の方に参加していただいた。参加者は関東近郊を中心に北は北海道・南は九州と全国規模にわたった。



●機械工学科を見学する高校生

正面玄関に平成17年度文部科学省特色GPに採択された「7つの工房によるカレッジマイスターの養成」の垂れ幕が掲げられたほか、学科の垂れ幕も受付に掲げられ、昨年度のオープニングパスよりかなり華やかな受付となった。



機械工学科4年の峰公一君が、ダイエット研究会を立ち上げて2年になる。外見は、中肉中背でダイエットとは縁がなさそうなお印象を受ける。

そんな中、機械工学科以外の学生と交友関係をもちたいと思っていた彼は、「ダイエット」をキーワードに同志を募った。近年、日本に限らず世界中がダイエットブームの真っ只中。学内にも自分と同じように健康を考えている学生がいると思えば、そこに目をつけたわけだ。ダイエットという本来の意味は、健康や美容のため

11/19(土) スターリングテクノラリー開催



・調整に余念のない参加者 (昨年実施の同ラリーから)

自作スターリングエンジンを搭載した車両で、スピードとアイデアを競う「第9回スターリングテクノラリー」が今年も本学を会場として11月19日(土)に開催される。主催はスターリングテクノラリー技術会、(社)日本工学教育協会(大学・高専)、(社)全国工業高等学校長協会、(社)本学も協賛。競技は①人間乗車、②ノーマル、③ミニ、今回新設された④クーラーの4クラスで競われる。小学生から現役エンジニアまで今年も全国から約180チームが参加予定で、付属東京工業高校からはノーマルで8台が出場予定だ。

人事異動

【任用】(10月1日付) ◆伴雅人助教授(システム工学科) 昭和40年5月20日生まれ。平成3年名古屋大学大学院工学研究科博士前期課程金属工学専攻修了。博士(工学)。前川崎重工業(株)勤務。 ◆松倉宏一事務職員(総務部総務課) 昭和30年2月16日生まれ。昭和52年日本工業大学工学部機械工学科卒業。 ◆渡辺康夫教授(10月1日付) ◆共通系主任(寺尾裕教授(再任)) ◆電気電子工学科主任 高橋明彦教授(新任) ◆建築学科主任 成田健一教授(再任) ◆機械工学専攻幹事 有賀幸則教授(新任) ◆システム工学専攻幹事 鈴木敏正教授(新任) ◆学修支援センター長 兼 有賀幸則教授(再任) ◆昭和三十九年日本工業大学工学部機械工学科卒業。 ◆留學生別科主任 山岸富貴教授(再任)

吹奏楽団 「うさぎとカメ」

吹奏楽団(指揮・山崎茂)は11月20日(日)春日部市民会館で第22回定期演奏会を開催する。クラシック、企画、ポップスの三部構成で、メインとなる企画ステージでは童話「うさぎとカメ」を音楽で表現。幅広い年齢の方に親しみやすい内容となっている。

充実する学内環境

夏期休暇期間中に以下の学内施設が整備され、学内環境がさらに充実した。情報工学科棟、マルチメディア教室に「レスポンスアナライザ」を付加し、ネットワークは学内LANのリニューアルでインターネット回線は従来の3倍以上に増設された。また情報センター等の増設で、学内全域でネットワークの利用が可能となった。以上3件は平成17年度私立大学等経費補助金申請中。

国際交流

7月13日から2日間、華キャンパスも見学。更に都中科技大学(中国) 王秉副学長、元本学教授の黄一夫氏等が来学。今後の学術交流に関する意見交換や施設見学等が行われた。 ◆中国、タイから来学 9月16日にはキングモンクット工科大学トンブリ校(KIT)の来学で、以下4名の教員が本学を来学訪問した。 ◆タイからの表敬訪問、中国科技大学との調印

峰公一君

機械工学科4年 (東京都立立工業高等学校出身)

ダイエット研究会を立ち上げ

ついでに13kmウォーキング、有酸素運動で内臓脂肪を燃焼させ腹筋も鍛えられる効果があるという風船ダイエットなどがある。成功例として、ある学生は脂肪を15kg減量した。この大学生活が有意義なものになっていくと彼は話してくれた。特に、人付き合いや読書、今回のダイエット研究会立ち上げが彼にとってかけがえのないものとなった。来春からは食品の企画・開発の仕事に就く現代人の食生活を考えた時、ライフスタイルが変化していく中で、栄養の偏りや過度のダイエット、朝食抜きなどの生活、肥満や生活習慣病の増加、食文化の喪失など、改善点は多々ある。彼が踏み出す食の世界は広い、活躍を期待したい。



作りたかった。まず、面識のあった保健センターの中島先生に相談し、建築学科の黒津先生を紹介してもらった。黒津先生は「黒津先生に自主サークルの趣旨を話し、顧問として、気づいたら走りた。サークルとして、学内行事にも積極的に参加した。若杉先生は、学生の野菜不足を考え、野菜多めのお好み焼きを出店。夏祭りでは、健康を考え「冷奴」を販売した。健康にも気を使っていたこと

環境配慮の観点から再生紙を使用しております。

◆環境配慮の観点から再生紙を使用しております。

国外出張 (5月～9月)

◆星野坦之教授(システム工学科) / 出張先(台湾) (5/12～15) / 目的(IEEE(International Tuning)社の技術打合せ) ◆石崎克也助教授(共通系) / 出張先(フィリピン) (6/12～15) / 目的(「研究集会(CMT2005)」に参加し、Poster Sessionを行い、Joensuu Universityにおいて関係機関との研究連絡) ◆鈴木清教授(システム工学科) / 出張先(ロシア) (6/19～27) / 目的(第8回国際先端低圧加工シンポジウム(SAIT2005)における論文発表) ◆大野修一助教授(共通系) / 出張先(韓国) (6/20～25) / 目的(Korea University of Science & Technologyの「International Workshop on Function Theory in Seoul 2005」における招待講演) ◆中里裕一助教授(機械工学科) / 出張先(韓国) (6/22～6/25) / 目的(The International Conference on Manufacturing, Machine Design and Tribology)における論文発表 ◆長坂保美助教授(機械工学科) / 出張先(韓国) (6/22～25) / 目的(The International Conference on Manufacturing, Machine Design and Tribology)における論文発表 ◆伊藤庸一教授(建築学) / 出張先(韓国) (6/24～27) / 目的(「韓日公開研究会」の目的) ◆田村泰寛助教授(情報工学科) / 出張先(ポーランド) (6/26～7/2) / 目的(European Society & Reliability Conference 2005)における研究発表 ◆伊藤庸一教授(建築学) / 出張先(スリランカ) (7/2～9) / 目的(「スリランカ」における津波被害調査) ◆松田洋助手(情報技術センター) / 出張先(台湾) (7/4～9) / 目的(「国際会議(CAIT 2005)」の論文発表) ◆玉木保教授(機械工学科) / 出張先(米国) (7/31～8/10) / 目的(「国際バイオメカニクス学会第20回大会」に参加) ◆小林哲二教授(情報工学科) / 出張先(オーストラリア) (8/3～11) / 目的(IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics)における論文発表 ◆大木幹雄助教授(情報工学科) / 出張先(フランス) (8/5～9) / 目的(「ICSC05」における研究発表) ◆伊藤庸一教授(共通系) / 出張先(米国) (8/21～25) / 目的(「IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics」) ◆市川泰弘助教授(共通系) / 出張先(カナダ) (8/21～9/15) / 目的(「IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics」) ◆特別セミナー(引率) ◆丹澤洋助教授(機械工学科) / 出張先(カナダ) (8/21～9/15) / 目的(「IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics」) ◆高瀬浩史講師(情報工学科) / 出張先(ドイツ) (9/4～13) / 目的(「IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics」) ◆星野坦之教授(システム工学科) / 出張先(タイ) (9/5～9) / 目的(「IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics」) ◆高橋明彦教授(建築学) / 出張先(台湾) (9/16～16) / 目的(「IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics」) ◆渡辺勝彦教授(建築学) / 出張先(台湾) (9/16～16) / 目的(「IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics」) ◆建築の転用・活用の技術と建築教育への展開に関する調査研究 ◆高橋明彦教授(電気電子工学科) / 出張先(カナダ) (9/9～19) / 目的(LCCとカナダ) ◆波多野純教授(建築学) / 出張先(カナダ) (9/9～19) / 目的(LCCとカナダ) ◆波多野純教授(建築学) / 出張先(カナダ) (9/9～19) / 目的(LCCとカナダ) ◆波多野純教授(建築学) / 出張先(カナダ) (9/9～19) / 目的(LCCとカナダ) ◆波多野純教授(建築学) / 出張先(カナダ) (9/9～19) / 目的(LCCとカナダ)

編集後記

毎年この時期に同じ話題で恐縮ですが、本年も超大型台風14号による各地での被害には大変なものがありました。アメリカでもハリケーン「カトリーナ」は、数千名の死者等史上最大級の被害をもたらしました。地球の温暖化で海面の温度が上昇したため、さまざまな理由・原因が言われていますが、本当のところはよくわかりません。自然の様々な「力」には一方、癒しの力もありません。国における自然観の違いは、その国をその国たらしめている政治、宗教、経済、文学等すべての考え方に影響を与えてきました。とても難しい問題です。

◆環境配慮の観点から再生紙を使用しております。

◆環境配慮の観点から再生紙を使用しております。